



NRU NEWS

No.292
2010年2月17日
発行責任者 太田克彦
編集責任者 吉澤英夫

首切り通告から23年 年度内解決に全力あげる！

～JR不採用事件の早期解決をめざす長野県集会～

県支援共闘と地方本部は2月15日、県労働会館で「JR不採用事件の早期解決をめざす長野県集会」を100名の参加で開催した。

主催者挨拶で高橋博久県支援共闘議長は、「参院決算委員会で又市議員（社民党）が、『JR不採用問題の年度内解決に向け努力している。（政府も）積極的に受け止めていただきたい』と発言し、鳩山総理は、『与党三党で解決案をしっかりとめ、政権の思いとして解決を実現してまいりたい』と述べた」と紹介、また、「年度末までにきちんと解決をするため、もうしばらくがんばろう」と決意を述べた。

闘争団の報告は、帯広闘争団の馬淵茂団長と音威子府闘争団の杉山均事務局長が、「闘争団のこれまでの歩みと現状」「24年間の思い」を述べ、3要求（雇用・年金・解決金）の実現のため、政治の場での解決に向け、最後まで頑張る決意を述べた。

地方本部を代表して太田委員長は、「解決が間近に迫っているが、共闘会議とも一致団結し、気を抜かず最後までがんばろう」と述べた。

最後に、支援共闘を代表して、アルピコ労組川中島バス支部の高橋洋書記長、自治労県本部の村山智彦書記長が決意表明し、神山勝長野地区支援共闘会議議長の「団結がんばろう」で散会した。



挨拶する高橋県支援共闘議長



帯広闘争団
馬淵団長



音威子府闘争団
杉山事務局長